

Re-Inventing Japan Project

Support for the formation of Collaborative
Programs with ASEAN Universities

Public Offering Overview in FY2012

平成24年度 大学の世界展開力強化事業 公募概要(案)

～ ASEAN諸国等との大学間交流形成支援 ～



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



1 Background & Objective 事業の背景・目的

- ◆ 急速なグローバル化に伴い、グローバルに活躍できる人材の登用、養成が急務
- ◆ 我が国の大学においては、世界における学生の流動性の高まりや教育の質保証、修得主義等の取組が優先課題となっていない大学も多く存在
- ◆ 一方、東アジア地域を舞台に、米国、欧州、豪州、さらには中国、韓国などの有力大学により、質の高い教育が展開
- ◆ ASEANにおいても、2015年の経済共同体の設立期限が間近に迫る中、高等教育の質向上や大学間連携強化への取組、域内での学生のモビリティ向上の動きが加速
- ◆ 「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）
 - 外国語教育や外国人学生・日本人学生の垣根を越えた協働教育をはじめとする高等教育の国際化の支援、海外大学との単位相互認定の拡大、日本人学生の海外経験を増やすための取組を強化
- ◆ 東アジア高等教育質保証国際シンポジウム（平成23年9月）
 - 議長声明において、質の保証を伴った大学間交流プログラムの増加とACTS、UCTSの活用とその成果及び課題の共有の必要性に言及

以上を踏まえ、平成24年度予算案においては、国公立大学を対象に、日本人学生とASEAN諸国等の外国人学生の交流を行う事業に対して重点的に財政支援を実施。

※1) ACTS (ASEAN Credit Transfer System) とは、AUN (ASEAN大学連合)における共通の単位互換制度。欧州におけるECTSを参考に枠組みを構築。

※2) UCTS (UMAP Credit Transfer Scheme) とは、UMAP (アジア太平洋大学交流機構)における共通の単位互換制度。

2 Project Overview 事業の概要

① Target Projects 対象事業

世界に雄飛する日本として誇れる人材の育成を目指し、国際的な枠組みで、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行う東南アジア諸国連合の大学等との大学間交流の形成を行う事業とし、以下の2つの申請区分を設定。

- (I) 日本とASEANにおける大学間で1つのコンソーシアムを形成し、単位の相互認定や成績管理等の質の保証を伴った交流プログラムを実施する事業
- (II) **SENTプログラム**: *Student Exchange for Nihongo Teaching assistance*

上記 (I) と同様にASEANとの質の保証を伴った交流プログラムを実施する事業のうち、日本人学生が留学先の現地の学校等での日本語指導支援や日本文化の紹介活動を通じて、学生自身の異文化理解を促すことを海外留学の目的の一つとして位置づけ、将来、日本とASEANとの架け橋となるエキスパート人材の育成を目指す事業

単位の相互認定を行うことを必須とし、双方向の交流を伴う事業が望ましいが、日本人学生の派遣又は外国人学生の受入の一方向の交流であっても可能。



② Number of Selections 選定件数

◆ 10件程度（6千万円程度／1件）

- 申請区分（Ⅰ）の事業を優先的に採択するが、
- 申請区分（Ⅱ）の事業（SENTプログラム）についても3～5件程度の採択を予定。

※選定件数は採択事業の申請予算額に応じて増減するためあくまで目安。

③ Number of applications 申請件数

◆ 申請区分ごとに各々1件の申請が可能

- ✓ 申請区分（Ⅰ）と申請区分（Ⅱ）への各申請内容に重複があることは不可

◆ 複数大学による共同事業としての申請も可能

- ✓ この場合、代表して申請する大学のみを申請件数として計上



④ Period of Implementation, Evaluation 事業期間、事業 の評価

- ◆ 5年間
- ◆ 支援開始から3年目（平成26年度）に平成25年度までの取組状況に関する中間評価を実施。
- ◆ 支援終了後（支援開始から6年目の平成29年度）に支援期間全体の実績に関する事後評価を実施
- ◆ 中間評価の結果次第で、計画の変更、中止も含めた見直しを行うこともある。





⑤ Target Plan 対象とする構想

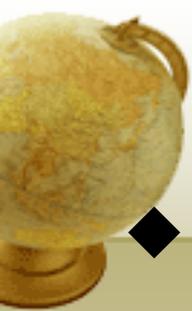
◆ 申請区分（Ⅰ）及び（Ⅱ）共通

- 日本とASEAN等の大学間においてコンソーシアムを形成し、単位の相互認定や成績管理等の質の保証を伴った日本人学生の海外留学及び外国人学生の受入の双方向の交流を促進できるような交流プログラム
- なお、将来グローバルに活躍できる人材像とそれに基づくプログラムの設定や提供を行うもの
- 大学間交流促進の牽引役となるような先導的な構想
- また、当該大学の中長期的なビジョンのもとに戦略的な交流プログラムを実施するもの

◆ 申請区分（Ⅱ）のみ

- 申請区分（Ⅱ）は、上記に加え、日本人学生が留学先の現地の学校等での日本語指導支援や日本文化の紹介活動を通じて、学生自身の異文化理解や日本人としてのアイデンティティ確立を促すことを海外留学の目的の一つとして位置づけ、
- 将来、日本とASEANとの架け橋となるエキスパート人材の育成を目指す





◆ 次に掲げる事項に留意して交流プログラムを計画することが求められる

- 透明性、客観性の高い厳格な成績管理（コースワークを重視したカリキュラムの構成、GPAの導入や教員間の相互チェックなど）、学生が履修可能な上限単位数の設定、明確なシラバスの活用等による学修課程と出口管理の厳格化に努め、単位の実質化を重視していること。
- 交流プログラムを実施するにあたり、単位の相互認定や成績管理、学位授与に至るプロセスが明確になっていること。
- 短期の交流から学位取得を見据えた長期の交流までの様々な形態の交流を含む多層的な構成で、大学間交流の発展に繋がるような柔軟で発展的なプログラム構成となっていること。
- 本事業の実施に伴う外国人学生の受入れ及び日本人学生の派遣の拡大に備え、大学における環境整備を図ること。
- 中央教育審議会大学分科会国際的な大学評価活動に関するワーキンググループ「国際的な大学評価活動の展開状況や我が国の大学に関する情報の海外発信の観点から公表が望まれる項目の例」（平成22年6月）が掲げる、国際的な活動に特に重点を置く大学において公表が望まれる項目について、大学のグローバル化に向けた戦略的な国内外への教育情報の発信が行われていること。
- 本事業の達成目標について、一般国民に分かりやすい形で具体的な目標を設定していること。
- 目標の設定あたっては、本プログラムにおいて養成しようとするグローバル人材像を明確に設定するとともに、それを踏まえて、アウトプット及びアウトカムに関する具体的な達成目標を設定していること。
- 構想の策定にあたり、その妥当性・実現性が高いものとなっていること。
- 本補助事業の支援期間終了後も継続的かつ発展的に質の保証を伴った交流プログラムが実施されるものとなっていること。
- 資金計画が、経費や規模の面で合理的なものであること。

◆ また、申請区分（II）については、次に掲げる事項にも留意してください。

- 日本人学生が現地の学校等での日本語指導支援等の活動に参加するにあたり、事前の準備教育や現地におけるサポート体制が十分なものとなっていること。



3 Selection Methods 選定方法

- ◆ 選定のための審査は、独立行政法人日本学術振興会を中心に運営される「大学の世界展開力強化事業プログラム委員会（以下「委員会」という。）」が実施
- ◆ 具体的には、委員会のもとに設置される、審査部会において「書面審査」及び「ヒアリング審査」を実施
- ◆ 委員会は、審査部会の審査結果を踏まえ、採択する構想の決定
- ◆ 選定にあたっては、地域配置、国公私、学部・大学院、専門分野のバランスに配慮





4 Schedule スケジュール

- 4月中旬 プログラム委員会（第1回）
 - 公募要領等の決定
 - 4月中旬 公募の開始
 - 4月下旬 公募説明会の開催（@東京、大阪）
 - 5月下旬 公募締切（郵送必着）
 - 6月～ 審査部会による審査
 - 書面審査、ヒアリング審査
 - 9月上旬 プログラム委員会（第2回）
 - 採択大学の決定
- 選考結果のプレスリリース